

令和7年3月定例会あいさつ

皆さまおはようございます。

本日ここに、久山町議会3月定例会を招集しましたところ、議員全員の皆さまのご出席を賜り、誠にありがとうございます。

今年は暖冬の昨年とは違い、寒さが厳しいことが予測されていました。2月に入ると、日本海側の広い範囲に立春寒波が襲来し、各地で大雪となり、物流等を含め私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

しかし、先週からは、ようやく、春の暖かな空気が流れ込み、全国的に気温が上昇し、いよいよ春本番を感じさせる時期を迎えます。春は久山町にとって、町内各所で桜が咲き誇る特別な季節でもあります。町民の皆さまをはじめ、多くの皆さまに久山の春を満喫していただき、心豊かな時間を過ごしていただけることを願っております。

さて、本議会が終了し、4月から新たな年度を迎えることとなります。ここで改めて国内外の情勢に目を向けると、世界では、地政学的な緊張の高まりや、アメリカをはじめ、政治の不安定化により、まだまだ混乱が続くことが予測されています。

国内においては、少子高齢化がますます加速する中で、人手不足や円安による物価高騰が続いており、その影響は米の急激な価格上昇等にもつながり、私たちの食にも広がっています。しかし、これらの課題解決に向けた対応策やその財政負担にどう向き合っていくか。少数与党による政府の舵取りは不透明な状況です。

そのような中で、令和6年度を振り返ってみますと、長く続いたコロナ禍の影響が少なくなり、社会・経済全般に回復の兆しを感じることができた1年となりました。しかしながら、全国各地では、今年も大きな地震や豪雨災害が発生し、改めて災害への備えの大切さを痛感させ

られた年でもありました。

そのため、物価高騰への対策や災害等への備えを含めた町民の皆さまの暮らしの安心安全の確保を行いながら、第4次総合計画に掲げる誰もが生き生きと暮らせる健康田園都市の実現に向けて、「健康福祉」「教育」「産業」「暮らし」「地域経営」のそれぞれの分野を進めていくことで、着実な成果を上げることができました。その主な内容についてご説明いたします。

まず、「健康福祉」の分野については、「子育てつながるプロジェクト事業」として進めている。「みんなでつくる公園づくり」が3年目を迎え、実施設計が完了しました。町民の皆さまがイベントも企画・運営する等、公園整備後のソフト面での実証と方針の策定もあわせて完了しました。事業開始からワークショップやイベント等で延べ500人以上の町民の皆さまに関わっていただき、完成に向けた期待の高まりも感じられています。また、昨年度スタートした「シニアチャレンジ応援事業」では70歳以上のシニアの皆さまが使えるチケットの範囲を町内での映画鑑賞やカラオケフィットネス等に加え、本年度から町内の飲食店でも使用できるようになりました。その結果、昨年12月末までに、延べ6,392人の方が申請され、1万2,829回の利用が行われました。この数値は前年比の5倍にもものぼり、シニアの皆さまにも大変ご好評頂き、外出支援だけではなく、商工振興にも大きく寄与する事業となりました。

次に、「教育」の分野については、中学生を中心とした「久山中学校図書館リニューアル事業」が今月完成を迎えます。本年度は、照明や椅子の入れ替えを進めており、3月20日に町民の皆さまにお披露目会を行う予定です。また、長きにわたる懸案事項であった山田小学校体育館の内部改修およびLED化工事が完了し、久山会館2階、中学校体育館および町民体育センターの空調整備工事も間もなく完了します。

「産業」の分野については、電子版を含む「プレミアムつき商品券発行事業」を実施し、発

行した電子版2,000万円。紙版6,000万円を好評のうちに完売いたしております。また、水稻農業物価高騰対策支援金は、昨年度よりも補助率を上げ、物価高騰分に当たる30%を支援しました。

「暮らし」の分野については、堀田4号線、山田～久原1号線、山田～小松ヶ丘線、高橋～原線等の道路の舗装打ち替え工事を行い、大藪橋、前田1号線橋、傘橋等の橋梁補修工事を行いました。また、順次整備を進めている「公園遊具設置」については、今年度は下山田区に設置を進めています。

最後に、「地域経営」の分野については、「公共施設利用予約申請」や競争入札参加資格でオンライン申請システムを導入し、「電子契約」を開始しました。電子入札の準備も終え、DX推進を着実に行うことができました。財政面においては、歳入は、「ふるさと応援寄附金」の返礼品の充実や広報等に力を入れたことで、前年度から約5,200万円の増を見込んでいます。財政全体としては2億8,000万円ほどの基金積立てを行う予定です。

このように、令和6年度は、町の将来像の実現に向けて着実な成果を残し、次年度につながる1年となりました。改めて議会の皆さまのご協力に感謝を申し上げます。

次に、ここからは、令和7年度のまちづくりの方向性および予算編成方針についてお話をいたします。令和7年度は第4次総合計画の4年目として、これまでの方向性と成果を踏まえながら、引き続き、町の将来像の実現に向けて、各分野における取り組みを確実に進め、事業によっては部署の横断的なつながりを持って効率的な経営を行ってまいります。また、人のつながりを深めながら、町の資源を好循環する仕組みづくりにも着手し、「住む」「食べる」「学ぶ」「働く」「遊ぶ」という「暮らしの5つの要素の循環」を少しずつ形にしていくことで、「久山町だからできる、豊かな暮らし」の実現を推進してまいります。

それらを踏まえ、ここからは、令和7年度の予算編成方針につきましてご説明をさせていただきます。令和7年度久山町一般会計予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ69億円とし、令和6年度より5億2,300万円、8.2%の増となっています。

歳入においては、固定資産や町民税等の税収は若干の増額を見込んでおり、ふるさと応援寄附金は、令和7年度も増額する見込みで計上しています。国・県支出金等の活用に加え、町の基金を活用しながら、物価高騰対策および投資的事業を同時に行っていく予算編成となっています。

物価高騰対策としましては、引き続き、ごみ袋の全世帯配布および水稻農業物価高騰対策支援を実施するとともに、学校給食費の値上げ分の1食当たり60円の補助等を行います。

「健康福祉」の分野では、「子育てつなげるプロジェクト事業」の体制づくりや、「シニアチャレンジ応援事業」の利用促進、「シニアスマイル講演会」の実施等を引き続き行います。さらに、子育て世代に向けた新規事業として、「子ども医療費」の対象を高校生まで拡大します。これにより、高校生までひと月の医療費はワンコイン500円が上限となります。ハード整備としましては、今年度から行っている「ヘルスC&Cセンター」の空調設備改修事業、「ひさやま保育園杜の郷」の空調改修工事を行います。

「教育」の分野では、引き続き「体育施設」への空調整備事業を行います。今年度実施している「山田小学校体育館」の整備を繰越しで実施し、「久原小学校体育館」および「猪野柔剣道場」に空調整備を行います。新規事業としましては、「首羅山遺跡ガイダンス施設」整備のための施設実施設計および用地購入を行います。さらに、中学生を対象とした楽しみながら数学を学ぶ「数学塾」の開講や、受験シーズンの中高生の学習場所の確保および支援を目的とした「久山スタディルーム」を設置します。そして、社会で活躍する人材づくりの一環として、

小学生を対象とした「キャリア教育応援事業」を実施します。

「産業」の分野では、電子版を含む「プレミアム商品券発行事業」や「キャッシュレス決済導入支援」を引き続き行います。新規事業としましては、循環型農業を目指し、「バイオ炭を活用した米作りの実証」や認定農業者を対象とした「スマート農業導入支援補助金」の創設、久山産等の「地産地消を目指した広報チラシの作成」を行い、生産者と消費者をつなぐ等の新たな取り組みに力を入れてまいります。また、町内の建築物等を含め町内産の木材の活用を推進し、林業振興にも力を同じく入れてまいります。

「暮らし」の分野では、橋本～古賀ノ脇線、前田～月見ヶ丘線、西～清水線の舗装打ち替え工事等、道路橋梁等の整備を行います。「公園遊具設置」については、下久原区に設置する予定です。また、大雨災害に備えるため、町民の皆さまと連携した「防災訓練」を引き続き実施いたします。

「地域経営」の分野では、引き続き自治体DXを推進し、住民の皆さまの利便性の向上を図るとともに、職員の人材育成の強化を図ります。また、子ども会育成会、シニアクラブを対象とした新たな補助制度を新設し、町民相互のつながりをつくる機会を創出していきます。

以上が令和7年度実施する分野ごとの主な事業でございます。令和7年度も社会・経済情勢、国の動向を注視しながら、必要な政策については柔軟に対応してまいります。

最後になりますが、私たちの暮らすこの久山町は、来年9月に町制施行70年という節目を迎えます。今の久山町の魅力である豊かな自然や温かい人のつながり、地域資源は、先人たちが培ってきた努力の結果であり、今を暮らす私たちへのギフトでもあります。人口減少社会の到来により、環境は、当時と大きく違うかもしれません。しかし、今を生きる私たちもまた、未来に久山で暮らす人たちに向けて、形を変えながらも、ギフト伝えていかなければなりません。

人。そのためには、限られた町の資源を守り、活かし、発展させることで、新たな「国土・社会・人間」の3つの健康づくりを構築していく必要があります。その手段として、インフラと人のつながりを整えていくことも重要ですが、何より大切なことは、戦略がしっかりとしていなければ、町の発展にはつながりません。現在作成中の第3期久山町まち・ひと・しごと創生総合戦略を中心に、久山町だからできる戦略を展開することで、私たち世代からの未来へのギフト届けられる、まちづくりに邁進してまいる所存です。

議会の皆さまにはご理解をいただき、今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、3月議会に提案しますのは、条例改正、令和6年度補正予算、令和7年度予算等17議案および諮問2件でございます。詳細につきましては担当課長がご説明いたしますので、ご審議のほど重ねてよろしくお願い申し上げます。

令和7年3月3日

久山町長 西村 勝